



【受験シーズン突入！】

いよいよ12月です。3年生にとっては、一般入試に向けて受験校を決定し、過去問演習に専念する時期になりました。この時期は「入試本番のプレッシャー」が重くのしかかり、さまざまな不安が出てきます。緊張・不安・ストレスは、受験の結果に悪影響を与えます。大きくストレスを感じる場合は無理をせず、友達や家族に相談しましょう。勉強することも大切ですが、「病気になるまいやう気をつけること」「自分のパフォーマンスを最大限に発揮できるよう準備すること」も重要です。体調管理もしっかり行い万全な状態で受験に臨めるようにしましょう。また、AO入試や推薦入試ですでに合格を得ている人も多いと思います。しかし、3年生のいずれのクラスにも一般受験に向けてプレッシャーと戦っている級友がいます。「受験は団体戦」と言われ、クラスの雰囲気が受験の結果に影響しますので、配慮ある行動をお願いします。

1・2年生は年内最後となる定期考査Ⅳが終了しました。今回の結果は、各種模擬試験の結果と合わせて9日からの生徒面談や15日からの保護者面談での重要な資料となります。課題を分析し問題点を把握し、その解決を図ってください。

【センター試験まで1ヶ月半】 ～受験準備はぬかりなく～

間もなく「受験票」等が学校に届き、試験会場もわかります。受験票を受け取り次第、記載内容を十分に確認し、準備してください。顔写真や時計、鉛筆(H・F・HBの黒鉛筆)、鉛筆削り(電動式やナイフ類は不可)、プラスチック製の消しゴム等が必要となります。

○「受験票」「写真票」：必要事項を記入し、同一の写真(縦4cm×横3cm)を貼り付ける。

「写真票」は、センター試験当日、最初に受験する試験時間内に監督者によって回収されます。「受験票」は、試験当日はもちろん、翌日の自己採点、国公立大学の2次試験や入学手続きの際にも必要となります。「成績請求票」は、国公立大学の各日程及び私立大学のセンター利用型入試に出願する際に、出願書類に貼り付けて提出します(コピーしたものは使用できません)。

○時計：計時機能のみの時計が必要です。携帯電話やスマホを時計代わりに使うことはできません。また、辞書・電卓機能付きのものや秒針音のするもの、大型のものも使用できません。

※・受験中に机に出しておけるのは、「受験票」「写真票」、黒鉛筆、シャープペンシル(メモや計算等にのみ使用可)、消しゴム、時計、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー(箱や袋から取り出した中身のみ)、目薬です。携帯電話等の電子機器類は電源を切ってカバン等の中に入れておくことになります。

・マークの漏れやズレなど「マークミス」には細心の注意を払うこと

「設問とマーク箇所がずれていた」「解答科目のマークをしていなかった」などのマークミスが毎年あります。解答科目がマークされていなかったり、複数の科目にマークされていたりすると0点となってしまいます。

【 受験校決定のポイント 】

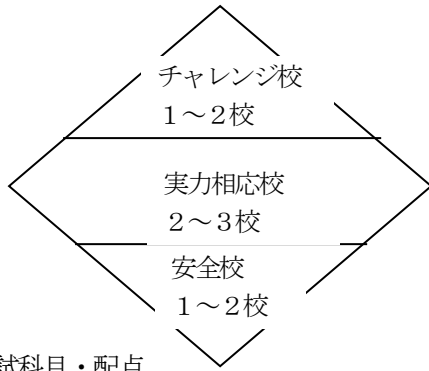
第1志望校が決まり、目標に向かって頑張っている頃だと思いますが、併願校についても十分に検討してください。3～5校の受験が一般的かと思います。第1志望校より先に併願校を受験することで、入試独特の緊張感に慣れておくことができ、1校でも「合格」を手にする事で気持ちに余裕が生まれ、落ち着いて第1志望校の入試を迎えることができます。このように、「保険」という意味だけでなく、第1志望校の入試で十分に実力を発揮するためにも、併願校はしっかり検討しておく必要があります。

(1) 受験校を決めよう

①難易度

入試の出題傾向は大学ごとに異なるため、大学別に対策を行う必要があります。さらに受験には体力も費用もかかります。受験校数はある程度絞り、一つひとつの入試に全力を注げるようにしましょう。

その際に目安となるのが、「ダイヤモンド受験」です。チャレンジ校1～2校、実力相応校2～3校、安全校1～2校、計4～6校を目安に検討しましょう。



| | |
|--------|----------------------------|
| チャレンジ校 | あこがれの大学。 模試判定D~E |
| 実力相応校 | 自分の成績から見て妥当な大学。 模試判定B~C |
| 安全校 | 過去受験したほとんどの模試で A判定の大学 |

②入試科目・配点

入試科目が第1志望校と大きく異なると併願校の対策に時間を取られ、第1志望校の対策に支障をきたします。併願校には第1志望校の入試科目を利用して受験できる大学・入試方式を検討しましょう。その際、自分の得意科目の配点が高い入試方式がないかあわせて確認しておきましょう。

私立大学では、センター試験の成績を利用できる「センター利用方式」や1度の受験で複数の学科に出願できる方式などさまざまな入試制度があります。その中からもっとも自分にあうものを選びましょう。最近では、複数の方式を受験する人や、インターネットを利用して出願（ネット出願）した人を対象に検定料の割引制度を設ける大学があります。志望校でもこうした制度が設けられていれば上手に活用しましょう。科目をそろえて負担は小さく、得意科目の配点は高く、受験料はなるべく抑える。“賢い”受験が第1志望校合格につながります。

(2) 受験スケジュールを立てよう

③連続受験

本番の入試では、模試以上に緊張し、疲れもたまり、予想以上に体力を使います。連続受験はできるだけ避けましょう。どうしても志望校の試験日が続いてしまう場合でも最大「**3日**」までに留めましょう。また、地元での受験ができない場合は、移動時間などを考慮に入れて余裕のある日程を組む必要があります。本学以外で受験できる地方試験を実施している大学も多くあるので、積極的に利用し受験に伴う移動や宿泊はできるだけ減らしましょう。

④受験順

「最初の入試」では誰でも緊張し実力を発揮できないことがあるので「最初」が第1志望校とならないように、また入試難易度が「右肩上がり」になるよう、「安全校→実力相応校→チャレンジ校」の順に受験できるように、スケジュールを立てましょう。合格発表日と第一次手続き締切日の関係にも注意が必要です。大学に合格すると第一次手続き締切日までに入学金を納めなければ入学資格を失います。その多くの場合、入学金(20~30万円)は入学を辞退しても返金されません。志望順位の低い大学の手続き締切日が、志望順位の高い大学の合格発表日より前の場合、余分な入学金を納める事態が起きます。なるべく無駄な出費が抑えられるよう、受験スケジュールを立てましょう。

*このような場合、A大学に入学金を支払わなければなりません。

| | 2/1 | 2/5 | 2/6 | 2/10 | 2/11 | 2/15 |
|------------|----------|--------------------|------|--------|------|--------|
| A大学 (安全校) | 試験日→→→→→ | | 発表日→ | 手続き〆切り | | |
| B大学 (第一志望) | | 試験日→→→→→→→→→→→→→→→ | | | 発表日→ | 手続き〆切り |

【 大学入学共通テスト出題方法等について 】 ~英語の出題については変更なし~

11月15日付で文部科学省より以下のような内容が示されています。

大学入試英語成績提供システムの導入延期に伴う「令和3年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テストの出題教科・科目の出題方法等及び大学入学共通テスト問題作成方針について」に関しては、

- ・ 発音、アクセント、語句整序等を単独で問う問題を出題しないことについては、英語教育の観点から大学入学共通テストの導入を機に改善を図るものであること
- ・ 今回、英語のリーディングとリスニングの配点を均等にした趣旨は、高等学校学習指導要領が英語4技能のバランス良い育成を目指していることを踏まえたものであること

から、変更しないことといたします。

なお、「令和4年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト出題教科・科目の出題方法等及び大学入学共通テスト問題作成方針について」に関しては、令和2年6月頃に改めてお知らせする予定としております。

